

2022年2月7日

報道関係各位

三菱地所株式会社
丸紅株式会社
丸の内ダイレクトアクセス株式会社

全てのデータセンターの電力を再生可能エネルギー由来に

～丸の内データセンター、大手町データセンター、大手町第2データセンターが対象～

三菱地所株式会社（以下、「三菱地所」）と丸紅株式会社（以下、「丸紅」）が出資する丸の内ダイレクトアクセス株式会社（以下、「丸の内ダイレクトアクセス」）は、「RE100(*1)」準拠の「トラッキング付 FIT 非化石証書(*2)」を利用し、2022年2月上旬に、保有する全3カ所のデータセンターで消費する全ての電力について、再生可能エネルギー由来への切替が完了しました。



CO₂の削減量は、丸の内データセンター、大手町データセンター、及び大手町第2データセンターを合計して、年間約9,800トンの予定であり、一般家庭の約3,400世帯分に相当します。

データセンターはサーバー機器を集中して運用するため、スケールメリットにより効率的な電力利用が可能です。多くの電力を消費することから環境への負荷軽減を求められています。データセンターの全ての電力を再生可能エネルギーで賄うことは、社会的要請も強く、ユーザーのニーズにも応えるものと考えます。

丸の内ダイレクトアクセスは、大手町・丸の内・有楽町地区のまちのITインフラとして、オフィス直結型のデータセンター及び光ファイバーの提供を通じて、今後も地球環境に配慮しつつ、「安心・安全・快適なまちづくり」の一翼を担っていきます。

(*1) RE100:企業が事業で使用する電気を100%再生可能エネルギーとすることにコミットする協働イニシアチブ。企業が結集することで、政策立案者及び投資家に対して、需要家からエネルギー移行を加速させるためのシグナルを送ることを意図する。日本では、「日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)」が RE100 の公式地域パートナーとして、日本企業の参加と活動を支援している。

詳細：<http://www.there100.org/>

(*2)トラッキング付 FIT 非化石証書：固定価格買取制度 (FIT) 対象の再生可能エネルギー電源の電気に対する証書で、環境価値の由来となった再生可能エネルギー電源を明らかにした (追跡・トラッキングした) もの。RE100 加盟企業の目標達成手法に活用できる。

<再エネ電力への切替について>

切替時期 : 2022年2月上旬に3カ所全てのデータセンターを再エネ電力に切替
切替方法 : トラッキング付 FIT 非化石証書
CO₂削減量 : 年間約9,800トン (想定)

<各データセンターの概要>

(丸の内データセンター)	所在地	: 東京都千代田区丸の内三丁目
	総ラック数	: 約130ラック
(大手町データセンター)	所在地	: 東京都千代田区大手町一丁目
	総ラック数	: 約500ラック
(大手町第2データセンター)	所在地	: 東京都千代田区大手町二丁目
	総ラック数	: 約130ラック

<丸の内ダイレクトアクセスの概要>

設立 : 2000年6月
資本金 : 490百万円 (出資比率: 三菱地所51%、丸紅49%)
代表者 : 取締役社長 桑田 尚志
所在地 : 東京都丸の内三丁目4番1号 新国際ビル
事業内容 : 光ファイバー及びデータセンターサービス事業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲ 今回の取組みに関連する SDGs 目標

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

三菱地所株式会社 広報部 TEL：03-3287-5200

丸紅株式会社 広報部 TEL：03-3282-3886

丸の内ダイレクトアクセス株式会社 営業部 TEL：03-3214-4881